

さまざまな生き物の目覚めと成長を促す春の雨。あちらこちらで咲き誇り始めた桜の花が、いっそう華やかに花びらを開かせる令和六年度の入学式となりました。

ご来賓の皆様。新たに子どもたちを迎え、学校としても晴れやかに新たなスタートをきるこの祝いの日に、皆様にご列席いただけること、篤く感謝とお礼を申しあげます。皆様の温かなご理解とご支援あつての淀中学校です。子どもたちと同じく私も新校長として新たなスタートをきります。変わらず温かく学校を支えていただけますと幸いです。

新入生みなさん。淀中学校への入学おめでとございませう。中学校生活は楽しみですか。主に三つの小学校から仲間が集まりました。小学校で六年間を共にした仲間だけではなく、新しい出会いがたくさんある四月です。小学校にはなかったこともたくさんあります。教科ごとに先生が変わる授業。毎日の部活動。そして、何よりも急に心も体も大人びていくみなさん自身の成長。

そんな新しいことではいっぱいの中学校生活を楽しく有意義なものにするために、何よりも大切なのは、みなさんの気持ちです。素直で前向きな気持ち。楽しく有意義な中学校生活にしたいという素直で前向きな気持ちです。ぜひ、そのような気持ち

を強くもって、毎日の生活を送ってほしいと思います。

それでは新入生みなさんに、校長先生からみなさんに託したい2つの願いを、ぜひ、加えて伝えさせてください。

校長先生は、この三月まで小学校の校長先生を務めていたのですが、この二つの願いは、勤めていた小学校の卒業式でお話したことでもあります。中学生になったみなさんには少しばかり幼い願いに聞こえるかもしれませんが、心から校長先生がみなさんに託したい願いです。しっかりと聞いてください。

一つめの願い。それは、みなさんに「頑張る子」でいてほしいという願いです。頑張るというのは、成長するために、とても大切なことだと思います。頑張るためには目標が必要です。辛いことから逃げない心も必要です。何をどのように頑張れば目標に近づくのか考える力も必要です。いつも頑張りが続くことは実は簡単なことではありません。時には心や体が疲れてしまったり頑張れない時もあると思います。だけど、成長するために大切なことに間違いはありません。時々、休憩をしながらも、みなさんには「頑張る子」でいてほしいと強く願っています。

二つめの願い。それはみなさんに「優しい子」でいてほしいという願いです。成長するためには、いつも安心してすごせる場が必要です。安心してすごせる場には、温かな優しい気持ち

が満ちていると思います。みなさんが周りの人に優しい気持ちで接すると、周りの人もみなさんに優しい気持ちで接してくれると思います。優しさとは理解して大切にすることです。温かな優しい気持ちのやりとり。成長の土台となる安心してすごせる場を、いつも意識してつくってほしいと思います。

校長先生自身も、「頑張る大人」・「優しい大人」でいたいといつも思っています。そして、先生たちにも「頑張る先生」・「優しい先生」でいてほしいと願っています。甘やかすという意味ではありませんよ。繰り返しますが、優しさとは周りの人を理解して大切にすることです。校長先生も先生たちも生徒のみなさんも、みんな「頑張る人」で「優しい人」の学校。夢物語かもしれませんが、そんな学校、素敵だと思いませんか。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様のご入学おめでとうございます。中学生となったお子様は、思春期の真っ只中に突入していきます。戸惑いを感じる時もあるかもしれませんが、ぜひ、変わらぬ愛情とつかず離れずほどよい距離感で、さらなるお子様の成長を見守ってください。

以上、入学式の式辞とさせていただきます。

令和六年四月三日

大阪市立淀中学校 校長 吉田健太